

事務事業 No./名 称	■サービス部門 子育て支援事業 □支援部門						
主管課	青少年課	関連課	こどもみらい課				
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	子育て支援情報を収集・提供・発信するほか、子育て支援行事等を実施する。つどいの広場事業等の実施や、子どもが安全・安心して生活ができる環境づくりを行う。						
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考		
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
運営資源 状 況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	448	403	572			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	448	403	572			
	人員配置数	0.1	0.2	0.1			
	人件費(千円)	872	1,876	936			
事務事業 運営経費	協働の パートナー						
	総事業費(千円)	1,320	2,279	1,508			
	市民1人当 りの経費(円)	7	13	9			
	対象者1人 当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒						
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
参加者数(きらきらサロン・ぶれぶ れママメンテ)	○	目標値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前 進 △進捗遅い ×後退		実績値		921人	1,063人	1,120人	

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
子育て支援事業	448千円	①効率性 △ ②妥当性 ○ ③有効性 △ ④公平性 ○		⇒	□A □B ■C □D □E	
	事業の概要	子育て期にある親子に対して、子育ての助けになる講座を開催し、あわせて子育て中の保護者の交流を図るものである。				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒	□A □B □C □D □E	
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒	□A □B □C □D □E	
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒	□A □B □C □D □E	
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒	□A □B □C □D □E	
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	子育ての助けとなるような講座の企画をし、周知を図りながら、より一層の参加を促す必要がある。		
課題解決のための取組	子育て支援団体に事業委託した「きらきらサロン」のパンフレットを作成し、周知を図った。 子ども会館において、子どもは手遊びや紙芝居、保護者はセルフメンテナンスとしてヨガや操体法を行う「ぶれぶれママメンテ」を開催した。 梶原子ども会館において、市民団体との協働運営事業により、乳幼児親子向けのイベントを開催した。	取組の結果	■解決 □未解決
未解決の課題	なし		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性	△	今後の 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※■事業完了
		②妥当性	○		↓ C	課長等名
		③有効性	△			青少年課長
		④公平性	○			能條 裕子

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
子育て支援事業	主な個別事業	1221 子育て親子講座実施委託料	450	448	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							